

○計画期間：平成28年4月～平成33年3月（5年）

I. 中心市街地全体に係る評価

1. 平成28年度終了時点（平成29年3月31日時点）の中心市街地の概況

田原市では平成28年4月以降、田原市中心市街地活性化基本計画に基づき「多くの市民や来訪者で賑わうまちづくり」「住みたくなる、住み続けたくなるまちづくり」「誰もが活動したくなるまちづくり」を基本方針として、中心市街地の活性化に向けた各種事業を実施している。

ここ数年、中心市街地内では三河田原駅舎の整備や田原駅前通り線の全線開通が整備されるなど街並景観が整ってきている一方、マイカーが移動手段の主である本市では、歩いてまちなか回遊する人はまだ少ない状況である。

現時点で計画期間の2年目であり各事業が初期段階であるため、中心市街地内の状況に大きな変化はなく、居住人口など中心市街地の活性化への即効性は現れていない。今後、各事業が進捗していけば、居住人口・歩行者・新規出店者の増加など効果が現れることが期待される。

中心市街地における主な取組は、駅前一体活用プロジェクト事業として三河田原駅前にホテル誘致をした結果、最優先交渉権者を決定した（現在は契約協議中）。

三河田原駅前工場跡地活用事業として、国庫補助金（経済産業省：地域未来投資促進事業費補助金／平成29年3月交付決定）の採択を受け、実施主体者^(株)あつまるタウン田原と共に平成30年度の商業施設開業に向けた基本設計・関係者調整等に取り組んだ。

歴史ウォーキングトレイル修景事業として、散策道の舗装美装化を一部（L=110m）実施し、歩行環境の整備に取り組んだ。

今後も引き続き、まちなかの魅力づくりを着実に進め中心市街地の活性化を推進していく。

2. 平成28年度取組等に対する中心市街地活性化協議会の意見

計画記載事業の実現に向け、三河田原駅前工場跡地活用事業などのハード事業や、まちなか賑わいイベント開催事業などのソフト事業について、官民一体となって取り組むことができたことから、基本計画は概ね順調に進捗していると評価する。

また、中心市街地活性化協議会の下部組織として、運営会議・TM会議・ワーキング会議を設け、計画記載事業の検討・調整・進捗状況の確認・情報共有を図るなど、効果的に取り組むことができた。

三河田原駅前工場跡地活用事業については、商業施設の開業によるまちなか賑わいの創出に大いに期待している。

現在、中心市街地の活性化に向け各実施主体が積極的に取り組んでいるが、田原市には引き続き、市が実施主体となっている計画記載事業の着実な実施をお願いしたい。

II. 目標毎のフォローアップ結果

1. 目標達成の見通し

目標	目標指標	基準値	目標値	最新値	前回の 見通し	今回の 見通し
まちなかを 歩く人を増やす	歩行者・自転車通行量 (平・休日3地点平均値)	1,769人 (H27)	2,100人 (H32)	1,911人 (H28)	—	①
まちなかに 住む人を増やす	居住人口 (中心市街地内)	2,941人 (H27)	3,040人 (H32)	2,963人 (H29)	—	①
新規出店や 活動場所を増やす	新規出店・開施設設数 (中心市街地内)	17件 (H22-H26)	25件 (H28-H32)	6件 (H28)	—	①

<取組の進捗状況及び目標達成に関する見通しの分類>

- ①取組（事業等）の進捗状況が順調であり、目標達成可能であると見込まれる。
- ②取組の進捗状況は概ね予定どおりだが、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。
- ③取組の進捗状況は予定どおりではないものの、目標達成可能と見込まれ、引き続き最大限努力していく。
- ④取組の進捗に支障が生じているなど、このままでは目標達成可能とは見込まれず、今後対策を講じる必要がある。

2. 目標達成見通しの理由

「歩行者・自転車通行量」については、目標達成に寄与する主要事業「三河田原駅前工場跡地活用事業」などが完了していないが、シンボルロード花いっぱい事業・まちなか賑わいイベントの開催・各商店の集客努力などにより、通行量は増加した。今後も、計画に基づく事業展開により目標の達成が見込まれる。

「居住人口」については、計画に基づく関連事業の展開により、居住人口は微増した。今後も、計画に基づく空き家・空き地バンク制度など関連事業の展開と民間事業者による住宅開発等を呼び込むことにより、目標の達成が見込まれる。

「新規出店・開施設設数」については、目標達成に寄与する主要事業「三河田原駅前工場跡地活用事業」などが完了していないが、平成28年度6件の実績があった。今後も、計画に基づく関連事業の展開により目標の達成が見込まれる。

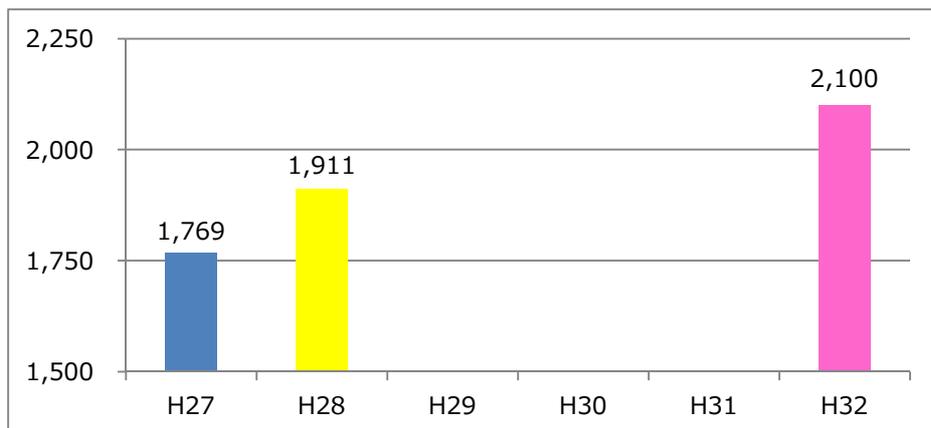
3. 前回のフォローアップと見通しが変わった場合の理由

平成28年3月認定の計画であり、前回フォローアップは実施していない。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「歩行者・自転車通行量」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.53-P.57 参照

●調査結果の推移



年度	人/日平均
H27	1,769 (基準年値)
H28	1,911
H29	
H30	
H31	
H32	2,100 (目標値)

※調査方法：調査地点3地点を両方向に通過する歩行者・自転車通行者を午前9時から午後8時まで計測。
(平日・休日各1日の平均値を算定)

※調査月：平成28年9月

※調査主体：田原市

※調査対象：調査地点3地点を通過する歩行者・自転車通行者

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①三河田原駅前工場跡地活用事業（㈱あつまるタウン田原・田原市等）

事業完了時期	【実施中】平成29年度
事業概要	来訪者、市民、地域住民が利用し相互交流できる新たな拠点施設として、地域資源を活用した飲食店等の複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、平日106人/日・休日155人/日を見込んでいる。 平成28年度：基本設計 平成29年度：実施設計、工事 ※平成30年5月施設開業予定

②歴史ウォーキングトレイル修景事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成32年度
事業概要	道路の歩行環境を快適化するため、歴史資源を結ぶ道路を散策道として舗装美装化など修景整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、平日132人/日・休日165人/日を見込んでいる。 平成28年度：L=110m 施工 平成29年度：予定なし（「水辺ウォーキングトレイル修景事業」を施工予定（L=170m））

③シンボルロード花いっぱい事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成25年度～
事業概要	まちなかの魅力を向上させるため、田原駅前通り線及びはなとき通りを中心に花が咲く植物を市民との協働により植栽し管理する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、平日132人/日・休日165人/日を見込んでいる。（②と同一） 平成28年度：年間を通じて事業実施 平成29年度：年間を通じて事業実施

④田原市街地バス運行事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 27 年度～
事業概要	まちなかの生活利便性を向上させるため、中心市街地内の交通結節点や主要施設を循環して結ぶコミュニティバスを運行する。
事業効果及び進捗状況	本事業による事業効果・目標値は設定していない。 平成 28 年度：運行・改善協議（市街地バス東西線：30 便／日） 平成 29 年度：運行・改善協議（市街地バス東西線：25 便／日）

●目標達成の見通し及び今後の対策

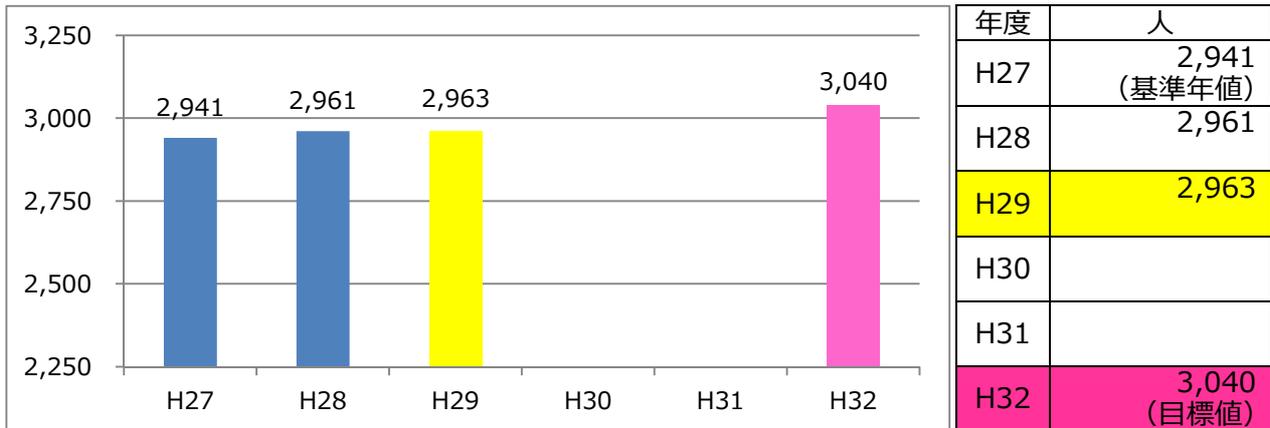
主要事業は概ね順調に進捗しており、歩行者・自転車通行量の増加目標の達成は可能であると見込まれる。

今後も、環境整備と合わせ、まちなか賑わいイベントといったソフト事業を総合的に実施することで、実績を伸ばしていきたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「居住人口」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.58-P.61 参照

●調査結果の推移



※調査方法：住民基本台帳人口（毎年4月1日現在／中心市街地区域内人口）
（住民基本台帳人口の推移から国勢調査ベースの人口を推計）

※調査月：平成29年4月

※調査主体：田原市

※調査対象：中心市街地区域内の人口

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①空き家・空き地バンク活性化事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	空き家・空き地の流動化及び新規居住者の確保を図るため、既存の空き家・空き地バンク制度の物件数を増やすとともに、家主や地域と居住希望者とのマッチングを強化する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。 平成28年度：登録、成約に向けた制度周知・仲介（成約実績1件） 平成29年度：同上

②空き家修繕等助成事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成21年度～
事業概要	空き家・空き地の流動化を図るため、空き家・空き地バンク制度を通じて活用する住宅の改築・修繕等に対して助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。（①と同一） 平成28年度：助成活用に向けた制度周知・仲介（助成実績0件） 平成29年度：同上

③住宅供給推進事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成28年度～
事業概要	居住者の増加を図るため、ファミリー世帯の定住や高齢者の居住安定に向けた民間の住宅供給への支援を行う。
事業効果及び進捗状況	本事業等の効果として、225人を見込んでいる。（①と同一） 平成28年度：供給地の庁内検討、民間事業者等に情報提供 平成29年度：同上

●目標達成の見通し及び今後の対策

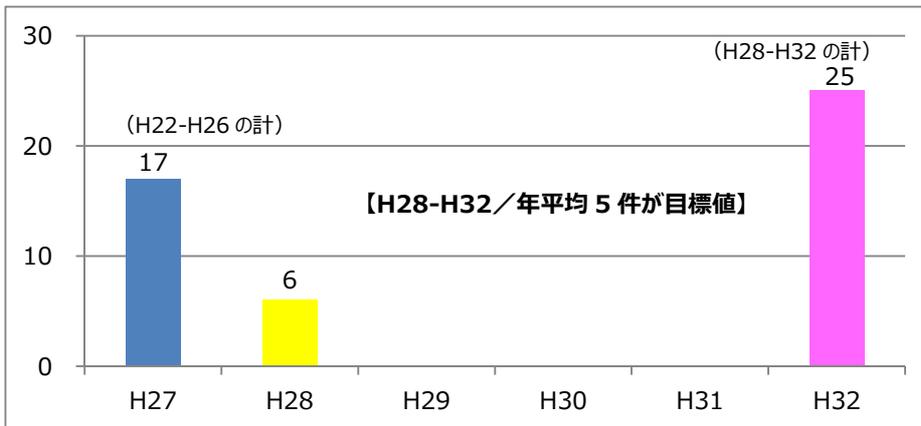
中心市街地内における空き家・空き地の活用ニーズの少なさなどから、主要事業の実績は芳しくなかったが、居住人口の増加目標の達成は可能であると見込まれる。

今後も、空き家・空き地バンク制度の積極的な周知や住宅開発など民間事業者の投資を呼び込むことにより、中心市街地の魅力を向上させ、実績を伸ばしていきたい。

4. 目標指標毎のフォローアップ結果

「新規出店・開設施設数」 ※目標設定の考え方 基本計画 P.62-P.63 参照

●調査結果の推移



年度	件
H27	(H22-H26の計) 17 (基準年値)
H28	6 【コンビニ・療術業3他】
H29	
H30	
H31	
H32	(H28-H32の計) 25 (目標値)

※調査方法：田原市商工会・田原市が新規出店及び施設立地状況を確認し集計

※調査月：平成29年4月

※調査主体：田原市商工会・田原市

※調査対象：中心市街地区域内

●目標達成に寄与する主要事業の進捗状況及び事業効果

①三河田原駅前工場跡地活用事業（㈱あつまるタウン田原・田原市等）

事業完了時期	【実施中】平成29年度〔再掲〕
事業概要	来訪者、市民、地域住民が利用し相互交流できる新たな拠点施設として、地域資源を活用した飲食店等の複合施設を整備する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、4件（飲食3・花屋1）を見込んでいる。 平成28年度：基本設計 平成29年度：実施設計、工事 ※平成30年5月施設開業予定

②居場所づくり支援事業（田原市）

事業完了時期	【未実施】平成30年度～平成32年度
事業概要	市民主体のコミュニティ空間の整備・運営に対して、市が経費を助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1件を見込んでいる。 平成28年度：未着手 平成29年度：事例研究、関係者調整、事業制度の詳細設計

③空き店舗活用モデルリノベーション事業（㈱あつまるタウン田原・田原市）

事業完了時期	【実施中】平成32年度
事業概要	新規出店・起業を促進するため、空き店舗を借り上げてモデル改修し、新規出店者に賃貸する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1件を見込んでいる。 平成28年度～平成29年度：事業制度の詳細設計、事例研究

④産業人材育成事業（田原市商工会・㈱あつまるタウン田原・田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	新規創業者などの人材を育成するため、商人塾、各種講座等を開催する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1 件を見込んでいる。 平成 28 年度：セミナーの開催（14 回） 平成 29 年度：セミナーの開催

⑤出店促進事業（田原市）

事業完了時期	【実施中】平成 32 年度
事業概要	新規出店・起業を促進するため、空き店舗を活用した出店に係る経費を助成する。
事業効果及び進捗状況	本事業の効果として、1 件を見込んでいる。 平成 28 年度～平成 29 年度：空き店舗活用モデルリノベーション事業と合わせて事業制度の詳細設計

●目標達成の見通し及び今後の対策

主要事業は概ね順調に進捗しており、新規出店・開施設設数の増加目標の達成は可能であると見込まれる。

新規出店等は経済状況などにも影響されるが、今後も、三河田原駅前工場跡地活用事業における環境整備や産業人材育成事業といったソフト事業を総合的に実施し、中心市街地の魅力の向上や希望事業者への支援を行い、出店の促進を図っていきたい。